



1. 色とりどりのバルーンとともに「おめでとう」/2. もっと上を目指して、ヨイショ！/3. シンボルのジャンボすべり台や広場もリニューアル/4. 新しくなったバッテリーカー、乗り心地は上々

「遊びに行こう！」

今年で開園 50 周年を迎える霊山こどもの村に整備を進めてきた休憩施設が完成し、オープニングセレモニーを行いました。須田市長は「雨の日などの休憩のほか、ボルダリングスペースも完備しているので、多くの方に楽しんでもらいたい」とあいさつ。参加した子どもたちと一緒にバルーンスパークでオープンを祝いました。

霊山こどもの村の営業時間は 9 時～ 16 時 30 分（最終入園 16 時）、定休日は水曜日（祝日除く）です。ぜひご家族でお出かけください。



市長コラム 第41回

「がんばれ！福島ユナイテッド FC！」

須田博行

このたび伊達市は、サッカーリーグ（J3）の福島ユナイテッド FC のホームタウンに登録されました。4 月 17 日に行われたホームゲーム（とうほう・みんなのスタジアム）であいさつをしてきましたが、今シーズンからクラブの試合日程やイベントの PR など、福島ユナイテッド FC の活動をしっかりとサポートしていきます。

さて、ホームタウンに登録されると、ホームゲームの際に「伊達市 DAY」が開催されます。市の PR ブースを出店しますので、全国各地から会場を訪れたサポーターに市の農産物などを購入してもらえ、絶好の機会となります。

また、保原総合公園内に建設しているサッカー場が今年 10 月に完成します。福島ユナイテッド FC のトップ選手の練習やアカデミーチームの試合会場として使用してもらったり、今年設立する伊達市総合型地域スポーツクラブのサッカー指導や、簡易宿泊所「とまっぺ」を利用した合宿など、地域振

興、スポーツ振興にも大きく貢献していただけたと考えています。

さらに、福島ユナイテッド FC には、サッカークラブでありながら「農業部」があります。東日本大震災と原発事故からの復興を願い、地域連携活動として福島県を代表する農作物を生産・販売しており、アスパラガス課、ぶどう課、桃課、米課、りんご課、ル・レクチェ課など担当課に分かれていて、3 月の桃の摘み取りから 12 月のりんごの収穫まで、選手・スタッフが全力で取り組んでいるとのこと。

今度、伊達市内での営農活動もお願いしたいと思っています。

伊達市では、3 月 16 日発生の福島県沖地震で多くの市民が被災しました。そのような中で福島ユナイテッド FC の活躍が、市民をはじめ県民に元氣と勇気を届けると確信しています。現在開幕から 6 戦負けなしの首位。J2 昇格を目指してみんなで応援しましょう！

がんばれ！福島ユナイテッド FC！